いわき民報
発行所
いわき民報社
（番一八三話電）地番一町田市平
人行發兼編輯
人刷印兼
千輝克己
定價一部一円　一ヶ月参拾円

理髪器具
結髪用具
白赤毛染
パーマネント及附屬品月賦販賣（二週間教授付）
高級化粧品小間物卸
貸カツラ
平市田町一九
安藤かもじ店

肥料用炭 増産に公休を返上

加配米のお禮に食糧増産に協力

常磐湯本礦勞組立つ

團体協約により勞資が完全に握手、新日本建設のため増産に挺身中の湯本町常磐炭礦湯本礦の勞組では、現下の食糧饑餓にも拘らず特に加配米の恩典に落してゐることは感謝すべきであると、今度月一回の公休日には今後「食糧増産援助出勤」として全員が出勤、採炭に當り、當日の出炭量はそつくり宮城、山形、兩縣下の肥料製造會社に送炭の上肥料製造に拍車をかけ、一貫匁でも多くの肥料を農家へ贈るやう努めることに決定、本月から即時實行に移すことになつたこの自發的公休出勤には炭礦側も全面的協力をなすこととなつた

壽炭礦でも感謝の増産

内郷町白水壽炭礦坑夫組合では勞務者加配米の延期に感謝しこの程加配米延期感謝大會を開き割當目標突破を期すべく申合せた

六ケ町村に開拓指定地

生活擁護同盟が引揚者達の爲に

石城地方生活擁護同盟では既報の如く戰災者、外地引揚者等の指導者懇談會を平市公會堂日本間に開くが、うち歸農希望者には次の如く斡旋する方針である

先づ郡内の好間、泉、田人、植田、上遠野、山田の六ケ村内に開拓指定地を定め一戸當り一町五反乃至二町五反歩の土地を開放、一家族へ年三千五百圓並に農耕機具等を無料貸與し種苗の給與は勿論、食糧も一合五勺の加配米を特配する

失業對策初協議會

救濟金、宿泊所設置案等審議

新圓生活、食糧難の深刻化に伴つて失業者は増加の一途を辿りこれが救濟は焦眉の急とされてゐるので、平勤勞署では二十三日午後一時から失業對策協議會の初召集を行つて、失業者に對する救濟金の據出、應急的作業の付與、簡易宿舍の建設並に給食問題、求人及び指導監督の諸問題について審議する、救濟金は〝石城よいとこ〟とただ慢然と流れ込み職を得られず泣き込むものが昨今著しく多いのに鑑み、これらに對し應急的作業を與へる一面、宿泊料なり給食費又は歸國の旅費等を支給しやうとするもの、全署としては求人關係の炭礦その他各關係方面に呼びかけて、最近二、三千圓は獲得を目指してゐる、又簡易宿舍は職は見付け得たが家のないものを一時的に收容し給食するものでこれ又求人側の協力により早急に實現せしめる方針とあり、その結果は期待されてゐる

尚救濟金については年二回決算報告もなすこととしてゐる

内郷町にも無料宿泊所

青少年の善導に佐川氏が建設す

内郷町宮佐川好男氏は、炭礦街の青少年の善導と正しい自治精神を把握させるために、自ら協政會を組織し指導に努めて來たが、同氏の努力に感謝の意から今度常磐炭礦内郷礦（舊磐炭）が古長屋一棟と布團十組を寄附することになつた、喜んだ同氏はこの長屋を即時改造の上無料宿泊所を開設、職を求めて他から流れ込む青少年や浮浪兒を收容し正業に挺身せしめることに決した、終戰後自由の窮き違ひから放埒に流れ、炭礦街の青少年について兎角の非難すらある折柄同氏のこの宿泊所は大きな期待をかけられてゐる

貧困者に軍靴等を

平市では軍靴百二十九足、地下足袋四十一足を市内生活貧困者百四十四世帯にこの程無償配給した

牛値以下に引下げ

野菜の新公價決定さる

出荷益々減少の一途か

野菜の再統制に入つて平市では先に縣の方針が決るまで暫定的に農家からの最高買入價格で仕入更に手數料一割を加算して配給、すべて計畫を樹てたが今度農林省から更に値段を下げた新公定價格が發表になつたので益々農家からの出荷が出渋つてゐる、これを季節ものの今出盛にある野菜に見ると蕪は八圓から四圓に、菜類が五圓から三圓五十錢へ、ふき十五圓から五圓へうど十五圓から七圓へ何れも半値以上に下落してゐる、このため新鮮な季節の野菜は勿論市内の配給は出荷がないので一切機能を失つた形で、この儘では一番野菜の不足な五、六月は全然配給物に依存出來なくなり野菜飢饉もお米の遲配と共にやうやく深刻化して來た

右について市役所配給課では語る

農林省で發表した新公定になつてから出荷は更になくなつた、然しこれを大衆的な菜類に見ると五圓が三圓五十錢になつたがこれで農家の算盤がとれないことはないと思ふ、魚が高いからやり切れないと云ふのが云分だが今少し消費者の氣持も吸んで欲しい

農業會側の協力を要望

高久校の熱意

野草採取活潑化

郡内を打つて一丸とする山野草海藻の採取運動は各町村とも非常な熱意で開始したが特に高久村國民學校では同運動の徹底化に強く共鳴、坂本校長を先頭に全兒童を動員、目下採取した野草を校内廊下に乾燥中であるが更に採取に力瘤を入れてゐる、地方事務所では各町村の目標量は必ず確保して貰ひたいと採取後の再採取も若芽の伸びるのを待つて再參反復して欲しいと各町村を督勵中である

農業會石城支部の職員會並に技術員會の業務課長内田節太郎氏が、今度常磐炭礦内郷礦（舊磐炭）が古長屋一棟と布團十組を寄附することになつた、喜んだ同氏はこの長屋を即時改造の上無料宿泊所を開設、職を求めて他から流れ込む青少年や浮浪兒を收容し正業に挺身せしめることに決した、終戰後自由の窮き違ひから放埒に流れ、炭礦街の青少年について兎角の非難すらある折柄同氏のこの宿泊所は大きな期待をかけられてゐる

今月の潮時

濱の要望に應へて

小名濱測候所發表

小名濱測候所では戰時中發表を中止してゐた滿干潮を各濱の要望に應へて發表することになつた、うち今月分は次の通り

日附	滿潮	干潮
一八	四、三五	一、三五
一九	五、〇〇	二、〇〇
二〇	五、一五	三、三五
二一	五、三五	四、三五
二二	六、一〇	五、一〇
二三	六、三五	六、三五
二四	八、〇五	七、〇五
二五	一〇、三五	八、三五
二六	一一、三五	九、三五
二七	一二、三五	一〇、三五
二八	一、三五	一一、三五
二九	二、四五	一二、四五
三〇	三、三五	一、三五
三一	四、三五	二、三五

凱歌は職員會へ

流石の内田課長も詰腹か

正式回答は廿三日に延期

農業會問題

農業會石城支部の職員會並に技術員會の業務課長内田節太郎氏の凱歌は職員會側にあげられた小名濱測候所發表の要望に應へて發表する

事業部設置

引揚者磐城聯盟が

海外引揚者磐城聯盟では才槌小路四三番地に事業部（假稱）を設置聯盟員の日用品其他の販賣をなすことになつた

強制疎開地を返還

市の玄關口もこれで面目一新

平市では戰時中強制疎開を行つた左記四地域總坪數八千百坪を近く持主へ返還することになり都市計畫線にふれない限り家屋の自由建築を認めることになつた、これに依つて永らく灰燼のまゝ放置されてゐた平驛周邊も新家屋に依つて復興されることになつた譯で平市玄關口の面目も一新される

◇一號防空々地（番匠町、仲間町、柳町、白銀町の一部）二千四百四十坪　◇二號防空々地（白銀町、大工町の一部）二千六百十六坪　◇三號防空々地（田町）千九百七十四坪　◇四號防空々地（平局周邊）千六十七坪

區内會に衛生部を

豫防の徹底に防疫班設置

平市では今夏の暑氣は相當激しいものと想像し、更に各地からの復員者、引揚者の歸郷も相當等の昆蟲類に依る場合が大部分であるとし、下水掃除に力瘤をあるので特に衛生に重点を置くべく研究中であるが、從來各區毎にあつた健民部を廢しこれを衛生部とし、更にその下に防疫班も設置して強力な防疫運動に乗出す豫定である、今度出來る衛生部は傳染病の根元は蚊、蠅、蚤等の昆蟲類に依る場合が大部分であるとし、下水掃除に力瘤を入れる方針で特に各家庭臺所の清潔化まで指導して行く方針だが、一方DDT撒布もあるのでその指導も受ける豫定にある

厚生省疎開品盜難

四倉でヒマシ油等十万圓分が

四倉町田戸の天然氷置場に疎開保管中の厚生省所管のゼネガシロップ三千本、ヒマシ油二千六百本、薄荷チンキ若干公價にして約十万圓がいつか盜み去られてゐるのを十五日發見した、現場の狀況からトラックで數回にわたり搬出したらしく内部の事情を知る者と見て目下取調べ中之は昨年三月空襲中疎開の爲厚生省より福島縣分としてトラック二十臺分の内濟通り分として五臺分を保管してゐたもの

指導者座談會

石城生活擁護同盟では十九日午後六時から平市公會堂日本間海外引揚同胞戰災者指導者座談會を開く

西部清潔

二十日に

平市では雨天のため延期中だつた清潔法を市内田町より警察署に通ずる道路を境界として西部地區を二十日施行と變更した

いわき寸言

▼失業對策協議會いよ〳〵初會同、救濟金の據出簡易宿泊所等の問題を審議するとある時局下最緊要事一日も早く實現を切望する

▼農業會の内田節太郎課長問題回答は延期されたが、詰腹は勳かせぬとあつて職員會側に先づ凱歌あがる、當然のことながら斯くあらねばならぬ、農業會民主化の第一歩といふところ

▼平驛側を始め市内四地域の強制疎開地八千余坪の持主への返還決定さる、戰爭だから已むを得なかつたとはいへ隨分無駄なことをしたもの、この上は市の美觀の上からも急速な復興が望ましい

▼區内會の健民部を衛生部に改稱する、兎角お役所は看板の塗替へ等がお好き、要はこんな塗替へより活動の強化にあることを明記すべきであらう

果して今年の米作は？

農業氣象學上からの觀測

來年も同様苦しみ度くないからだ、その重要部門を擔當する農業は氣象學上の上に立つとさへ言はれてる、果してそれ程大切な農業氣象を農村側ではどの程度に重要視して利用してゐるだら？、そこにも未だ〳〵封建的な非科學的な處がある、現在の氣象學は日進月歩、明日の天氣豫報どころか、二三ヶ月は愚か半ヶ年以上の長期豫報さへ判斷し得る、それは非常に科學的であり長い經驗から出た判斷力でもある大体天氣を判斷するには類似法、週期法、外搜法、氣壓配置法等の方法がある、これ等の方法に依つて今年の稻作を判斷するのも無意味でないと思ふ以下記者が小名濱測候所　所長から聽く今年の收穫豫想？である……

氣象條件では上作

大正十年の型と暑同様
今夏暑氣は嚴しい見込

總括的に見ると戰時中の十六年頃から農作物收穫上から見て不安定期に入つたと云ふことが出來る、それは氣象變化と作況が激しく變動したためで十九年頃から除々に安定期へと進行し丁度今年邊りは漸く平年に近い安定性を取戻した形である、これを類似法から見ると大正十年の氣象型と稍々同じと見ることが出來、先づ氣象條件は上作に近いと判斷することが出來る、特に十八年から昨年までの三ヶ年は最も惡條件下に晒され稻作の發育盛りの眞夏は何れも平年より ずつと低溫で不作への決定的影響を與へたが、この兩三年に較べれば今年は肥料と管理さへ良く手配がつけば先づ〳〵平年並又は上作に近いと斷定し得る、では今年の天候はどんな風に稻作へ影響するか？

今年の特徴は『春は涼しいが夏は暑い』見込みのため植付け當時の發育は稍々不振であらう、然し今夏は相當暑氣が激しいのでその不振も夏には挽回出來ぐつと盛返して發育良好になるだらう

との豫想である、これを更に詳しく調べると

▼五月…先づ平年並だらう

▼六月…平年より稍々低溫である

▼七、八月…段々上昇し平年より氣溫が高くなる

五、六月に霜害の虞

空の色合で見當はつけ得る

五、六月の低溫期は霜害の虞がある、現在の最低氣溫は八度内外で大して心配ないが山間部は充分注意が肝要である、霜害は空氣溫三度に下れば危險であると云はれるが氣象條件にも依ることが大きい、降霜に最も注意しなればならないときは

高氣壓がその地域を蔽い輻射等の時は充分注意が要る、純碧を防ぐ可き雲なく且つ風も比較的弱い時に限る、從つて凍害の有無を知るにはかゝる條件の氣象狀態となるや否やを知れば良い

とありまた空の色合に依つても大体豫想がつく

▼純碧の時　▼碧灰色の時

▼灰碧色の時　▼灰色の時

等の時は充分注意が要る、純碧色であれば益々放熱が盛んであるから冷凍の虞ます〳〵多く灰色に近づく程その懸念が少なくなる、また風のある日は全体が同一の氣溫狀態になるので霜害の心配は先づ無いと見て良い

昨今の天候が梅雨の前兆

鯖の漁獲に見る

では現在の愚圖つき氣味の天候はどうか？、氣壓配置法から見ると梅雨の前兆と見て良いだらう、高氣壓は支那大陸に移動のものがあり、千島方面の北方にも蟠踞してゐる、低氣壓はその中間にあつて一つの谷間を作つてゐるが丁度内地の大半がその勢力下に入つてゐる、現在氣溫が非常に低いと云ふのは千島の高氣壓から北の冷氣を送り込んで來るためで更に寒流の影響もある、暖流に乘つて來る鯖群の漁獲が非常に斷片的であるのもその兆候で寒流の勢力がまだ強いのを物語つてゐる、この点から推測して今年の曝魚（鯖、アヂ、鰹、鮪等）は沿岸へ寄りつくのが遲れる見込みだと云ふことも想像出來る

今後も未だこの狀態で

では今後如何にこの天氣圖は變化するだらう？

高低兩氣壓は除々に東へ移動するので支那にある高氣壓がやがて訪れて來るから天氣は三、四日うちに回復するだらが、それも束の間で又東へ去つて仕舞ふ、この高氣壓が通過するころはぱつと晴れるだらうが後から低氣壓が追つて來るそして後から來た低氣壓の進路を北に行つた高氣壓が素直に讓らず、拒んだりするのでじわ〳〵雨を伴つてこゝに足踏をする、慘々いたづらをして行くこうした『キカン坊高氣壓』が次々と現れて空をじれらせるのがこれからの空模様だ

今年の梅雨はこの儘の調子でやつて來る、然し本格的な梅雨は短期間で切上る見込だから暦面上より相當早めに訪れてまた去るだらう

農繁託兒所開設懇談會

そろ〳〵農繁期が迫つて來たので石成地方事務所では今年も農村へ託兒所を設けるべく近く郡内各町村に農業會學校側の出席を求めて懇談會を開くことになつたが、特に國民學校職員並に女學校生徒の手を借りるべく計畫中で開設期間は十四日間一日十時間の豫定である

私製はがき封筒の配給

平市では十八日から二日間私製封緘はがき、封筒の配給をみどり色の蛇よ

ねんばりした執陶を路ばたにうみ

開放

投書を歡迎す
要望、批判結構
紙上の匿名可

飽まで闘ひ

▼去る十四日平市佃町富士興業會社磐城工場の火災に對し、平市會が取上げて問題となり騷ぎが日毎に大きく成るやうだがこれは明かに市民より定評ある某市議の煽動に二、三議員が盲從したものであらう。平市警防團は常に關内團長が陣頭に立ち團員一同結束して一糸も亂れず夏季は炎熱下冬季は寒風に身をさらして常に市民のために活躍し、戰時中には空襲下にあつて身命賭して市民の生命財産保護に當り、その犧牲的奮闘に對して吾々は感謝感激してゐるものである。

▼假りに團長なり團員に多少の過失があつたとしても、これは市會より注意するか、乃至は督勵して互ひに協力し、市民に安心を與へるべきではないか。

▼この問題については徹底的に調査を爲し、事實無根なるを確認し、平市警防團名譽のため又平市政圓滿運營のためにかの陰謀議員を糾彈すべきである。

▼某市議の如きは莫大なる隱匿物資の摘發を受け、各新聞に掲載されたが、まだ取消しの記事が出ない處を見るとこれは事實であらう。これこそ自ら覺り凡ての公職を辭すべきでないかと市民は常に監視してゐる。

（市民より）

市民は味方だ

▼一部の陰謀に負けないやう消防部員はがんばつて下さい私達市民は貴方たちの味方です但し火事があつたら問題とは別に消火することも忘れないで下さい。

（一女性）

生活と文化

大手拓次のメモ

大崎千吉

（2）

彼の强みは傳統を知らなかつた点にある。彼は日本語といふ傳統を脱した自由な彼自身の言葉を創造した。

…日本の全詩壇の歴史を通じて萩原朔太郎は言つてゐる…。こんなユニイクな詩と詩人は見たことがない。第一その言葉と内容が過去のどんな詩人の影響をうけてはゐない、と。彼は彼の愛する幻像たちを表現するのには破格な言葉を學ばねばならなかつた。彼は苦もなくそれを自分のものとした。そこに彼の天才的な詩人としてのひらめきがある。彼の言葉の魔術は陶器製の青い鴉となり、苔香色の性慾となり、あはい豫言の日和とその舌で刺せ

その齒で咬め

その光ある尾で打て

その腹で紅金の焰を焚け

春のまるまるした肌へ

永遠を産む精液をそそぎこめ

みどり色の蛇よ

そして春とともに死の前へひざまづけ

…藍色の盞より…

○

彼の詩は彼に於てはひとつの生理であつた。もし彼はこの生理がなかつたら社會人として失格してゐたかも知れない。そうして春とともに死の前へひざまづえながらひとあし　ひとあし

春の肌にはひつてゆく

うれひに滿ちた春の肌は

あらゆる芬香のゆたゆたと波を

うつてゐる

みどり色の蛇よ

白い柩のゆめをすてて

かなしみにあふれた春のまぶた

みどり色の蛇よ

いんいんとなる戀のうづまく鐘

かぎりなく美の生立をときしめ

○

彼は異邦人であつた。傳統に對して白痴的な漂泊者であつた。そこに彼の悲劇性と孤獨癖があつた

○

彼は異邦人であつた。傳統に對して白痴的な漂泊者であつた。そこに彼の悲劇性と孤獨癖があつたかも知れない。

甘い味

刈羽寧

（2）

人工甘味料も隨分現われてゐるしこの間大阪方面で賣出された原子爆彈糖なんか甘い味を味つたとたんにあの世に一足飛びに行つてしまふやつも有るからコワイみたいもので有る　人工甘味料として取あげるものに次の樣なものが有つてこれを砂糖の甘さを一と假定してその甘さを比較してみよう

サツカリン	二〇〇—七〇〇
ヅルチン	七〇—三五〇
ペリラアルデヒト・アルドオキシム	二〇〇〇
グルチン	一〇〇〇
パラニトロオルトトルイヂン	九〇〇

之等の中で何と云つても王樣はサツカリンで有る　オルトトロールスルアミドを過マンガン酸カリのアルカリ性酸化に依つて得られる白い菱形或は針狀の結晶で水やベンヂンにはとけないが之を藥劑師の上等品に類する方の人がちよつと手をつけて水にとける樣にしたのが皆さんの御承知のサツカリンで有るだがサツカリンは煮るとスルフアミン安息香酸と云ふものになつて甘さがなくなつてしまふから御用心、御用心

優美ニシテ堅牢ナ

文化リヤーカー
發賣
A一號型五四〇、〇〇〇
A二號型四九〇、〇〇〇
B一號型一五〇、〇〇〇
右豫約に應じます數に制限あり御早く御申込下さい
現品陳列と申込所
平市田町一　電三八一番
磐城物産株式會社
平市撞鞋小路一〇
松屋商店
（SP商會　電五八番）

平硝子製作所
平窯業株式會社
平木工株式會社
佐藤幸太郎商店
佐藤幸太郎
本社　平市田町電四五五
東京事務所　東京都芝區新橋二ノ三八（島丸ビル）
小名濱出張所　小名濱町定西

▲不二の營業品目▲
器具一式
酸素電氣熔接
紙袋各種
壁樣下敷
墨紙上敷
——受引工加作製——
不二工業株式會社　湯本工場
湯本町表町　電話58番